

(参考資料)

① 鋼材平均価格 (JFEスチール, 単独ベース)

平成14年度上期実績	45.1千円/t
平成14年度下期実績	47.5千円/t
平成15年度上期実績	50.5千円/t
平成15年度下期見込み	50.3千円/t

② 粗鋼生産量 (JFEスチール) (単独ベース) (連結ベース)

平成14年度上期実績	1,319万t	1,491万t	
平成14年度下期実績	1,329万t	1,505万t	
平成15年度上期実績	1,341万t	1,516万t	(参考)平成15年(暦年)実績の連結粗鋼は
平成15年度下期見込み	1,357万t	1,536万t	3,022万t

③ 鋼材輸出比率 (JFEスチール, 単独ベース)

(金額ベース)

平成14年度上期実績	41.1%
平成14年度下期実績	39.0%
平成15年度上期実績	40.7%
平成15年度下期見込み	40.8%

④ 有価証券含み損益 (JFEホールディングス, 連結ベース, 単位: 億円)

平成15年度末(予想) 530億円程度(含み益)

⑤ 特別損益の内訳 (JFEホールディングス, 連結ベース, 単位: 億円)

	平成15年度 見通し
退職給付引当金繰入額	▲ 220
資産廃売却損益等	▲ 130
合 計	▲ 350

⑥ 為替レート(円/\$)前提

平成15年度上期実績 119円/\$
平成15年度下期見込み 108円/\$
但し、平成15年度については、約118円/\$でほぼ全量を予約済みである。

⑦ 1円の円高が利益に与える影響

平成15年度 : 1円の円高に対して、19億円程度の減益
(ドル収支では、19億\$ / 年程度の受取超過)
但し、今年度はほぼ全量を予約済みであり、影響軽微。

⑧ 営業利益の増減内容 (平成15年度通期見通し、対平成14年度実績比較)

鉄鋼事業	+1,051億円 (1,329億円→2,380億円)
(内容) コスト変動	500 (金融収支も含めたコスト変動額は、+545程度)
為替レート	▲ 160 (レート 121.9→113.4(為替予約前) ▲8.5円円高) 別途営業外収益にて、為替予約差益 +100程度有
原料価格	▲ 300 (鉄鉱石▲80、原料炭+20、備船▲80、金属他▲160)
償却方法変更等	▲ 210 (京浜、福山定額法⇒定率法▲115、増加償却▲95)
数量、構成、価格	990 (オンリー1、ナンバー1等高級品の増加含む)
その他	231 (ケミカル、電炉等グループ会社他)
エンジニアリング事業	▲98億円 (128億円→30億円)
(内容) コスト合理化の効果(+50億円程度)はあるものの、環境部門における事業環境の悪化、02年9月の造船事業の分社化の影響などにより、営業利益は減益の見通し	
都市開発事業	+6億円 (10億円→16億円)
(内容) 分譲マンションの販売増により増益の見通し	
LSI事業	+36億円 (12億円→48億円)
(内容) 販売増およびコスト削減(+10億円程度)により大幅な増益となる見通し	